

保育計画成果報告書

法人名等	独立行政法人国立病院機構 宮城病院
施設名	つくし保育園
報告者（役職）	島田 さゆり （ 園長 ）
住所・連絡先	〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原 1 0 0
	☎ 0223-33-8515
	E-mail tukushien@sunny.ocn.ne.jp

○タイトル（保育計画）

豊かな体験と異年齢とのかかわりを大切にする保育

○主な助成備品

山桜植え込み、ガーデンベンチ

○今回の助成事業に応募した経緯

2011年3月11日、東日本大震災で山元町は甚大な被害を受けました。沿岸より約2km西に位置している宮城病院から東方面は、多くの家屋の流出、半壊、床下床上浸水により震災前の生活が不可能になりました。我がつくし保育園は院内保育園として宮城病院同様高台に位置していたこともあり、通常の運営を続けることができました。震災後2015年3月新園舎になり、現在の場所（病院とつながりの敷地内）での運営が始まり、2018年4月から町の認可を受けて事業所内保育事業（保育所型）として自園給食も始まり「香り」のする温かい給食を提供しています。多方面の皆様からのお力添えをいただき復旧から復興へ進み始め今、震災後10年を迎えようとしておりますが、旧園舎にシンボルツリーとして存在してくれていた「山桜」を新園舎でも再び・・・その思いを受け止めていただき感謝いたします。



旧園舎時代の山桜【2013年4月撮影】



園児による絵画製作「桜の木」

1. 保育計画策定の目的

自ら考えたり、気づいたりできるようになるために様々な活動や体験を通して知識及び技能、思考、判断、表現力等の基礎を身に付け学びに向かう力を育て、異年齢とのかかわりの中で、互いに親しみを持つとともに、憧れや思いやりの気持ちを持ち、共に育ち合える保育を工夫する。

そんな保育に山桜とガーデンベンチを取り入れることで保育の実践につなげていきたいと考えました。

2. 具体的な実施内容

山桜は緑色の葉を付けた樹を植えていただきました。

季節が変わり秋には樹から落ちる葉や枝だけになった姿を見ながら、「早くお花が見たいね～」という思いで春が来るのを心待ちにしているところです。ガーデンベンチについては、移動できる利点を生かし園舎に連結しているウッドデッキに運び、ウッドデッキで昼食やおやつを食べました。夏まつりの出店「かき氷屋さん」では心地よい風が吹くところで、美味しそうにかき氷を食べる姿で「おかわり！」と、笑顔で楽しみました。

桜の木の前では、隣にある砂場と連動して季節の木の果や葉、花を利用しておもまごとあそびやごはんやさんに発展させ、ごっこあそびを楽しみました。

山桜の花を見ることが出来る日を子どもたちと職員全員で楽しみにしております。



3. その成果と評価

ガーデンベンチは、テーブルと椅子が連結されている形態なので、移動できるダイニングセットとして子どもたちが向かい合わせで座り、顔を見合わせて笑い合ったり

「ごはんおいしいね～」と嬉しさを共有したり、家庭的な雰囲気を喜びました。

また、心地よい風を感じながらの環境に身を置くことができるので、自然の空気をダイナミックに感じ「快」を十分経験することができます。

「快」が体験できると会話がはずんだり、優しい言葉が表れる空気が変わります。

4. 今後の課題と展望



今年の春（4月～5月にかけて）桜の葉の芽が吹き、つぼみを付け花が咲いていく・・・。

その移り変わりを目で追いながら、「お花見会」や「お茶会」（おやつ）、桜ふぶきや桜の花びらのシャワーを体験できる瞬間を共に喜び、情緒の安定と自発的な遊びの展開の保育を進めていきたいと思っています。

様々なごっこあそびが展開されることを春の訪れを待つ山桜と同じように、つくし保育園もその日を心待ちにしたいと思います。

ありがとうございました。



以上